



メジロ

カケス

循環式バードバスが選ばれる3つの理由



1. 生物多様性に貢献

自然共生サイト申請、TNFD開示に

自動撮影カメラと組み合わせることで野鳥の訪問を可視化し、生物多様性の定量評価に使えます。



2. ソーラー電源で簡単設置

配線不要、どこでも稼働

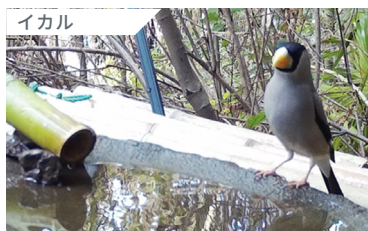
太陽光で駆動するため外部電源は不要。設置場所を選ばず、すぐに運用開始できます。



3. 環境学習・大人の趣味

手作りで楽しむ

バードバスの組み立てを通して初歩的な科学の原理が学べます。自宅の庭先にも設置できるため、子供の環境学習や大人の趣味(DIY)としてもお勧めです。



イカル



シジュウカラ



シロハラ



ルリビタキ



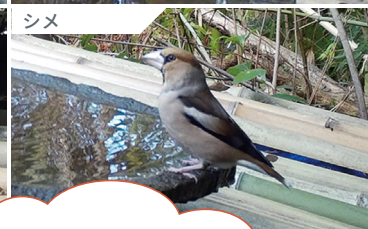
ツグミ



キジバト



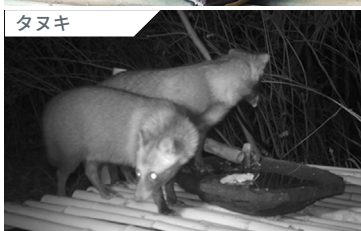
キビタキ



シメ



フクロウ

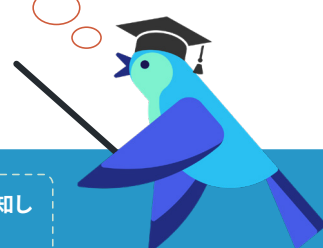


タヌキ



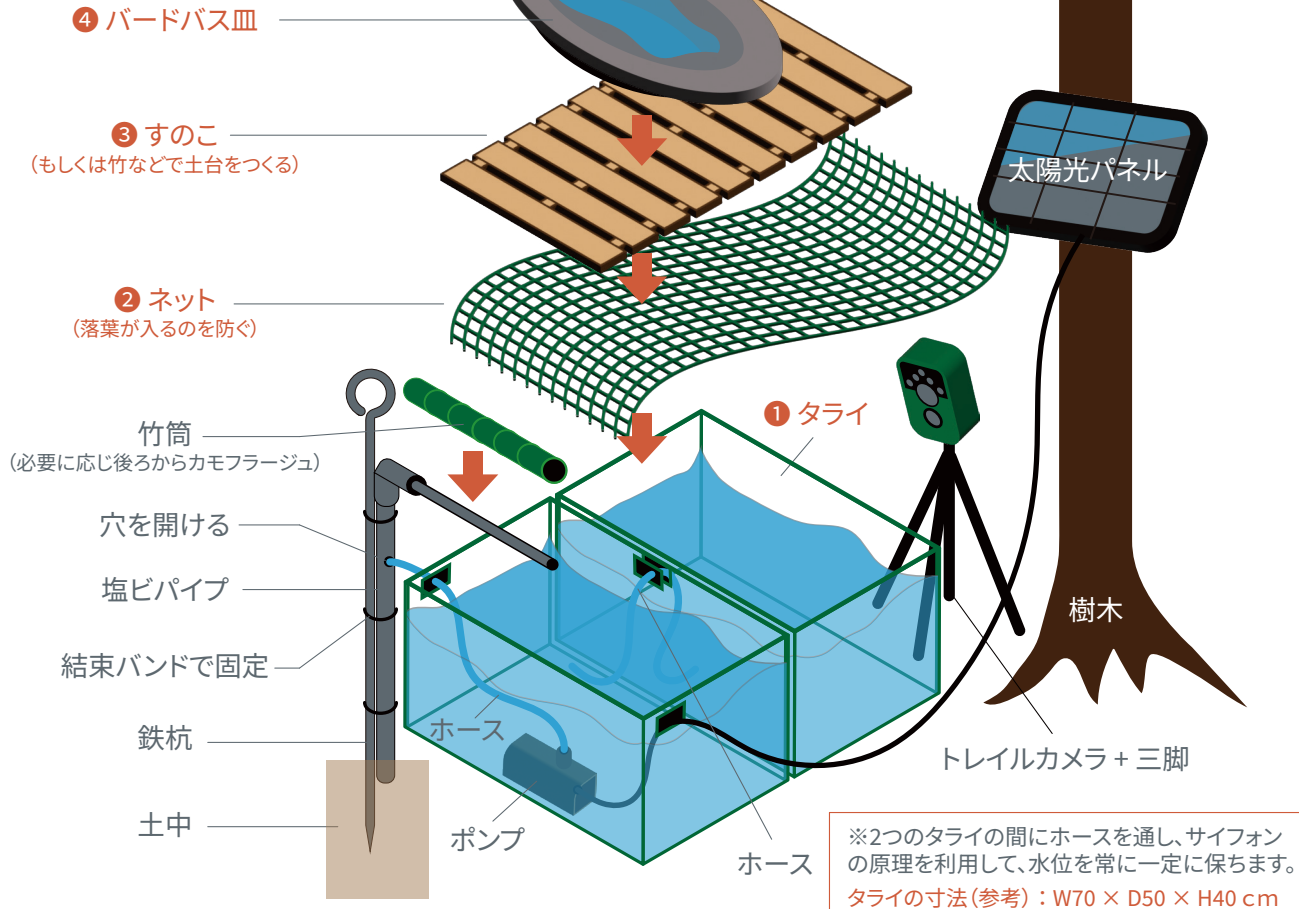
設置イメージ

いろいろな種類の鳥たちが
やってくるんだよ！



設計図

※①～④を重ねる



設置イメージ

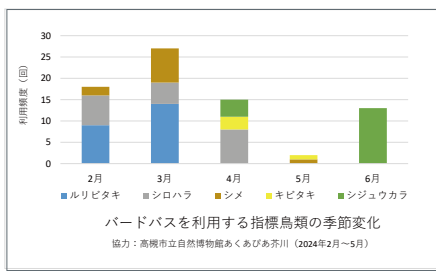


設置イメージ



生物多様性 モニタリングに最適！

このグラフは、循環式バードバスを利用する指標鳥類の月ごとの訪問頻度を記録したもので、季節ごとの生物多様性の変化を“見える化”しています。こうした定量的なデータは、自動撮影カメラとの併用により、TNFD開示や自然共生サイト申請に向けた環境モニタリングにも活用できます。



【設置の際の留意事項】

- 設置場所の選定
 - ・野鳥が安心して水浴びできる場所を選びます。周辺が開けていると野鳥は警戒します。
 - ・太陽光パネルは日当たりの良い高い場所がお勧めです。
- 資材の購入
 - ・皿の設置高さは、購入したポンプの揚水能力(揚程)に合わせて調整します。
 - ・哺乳類が多い場所ではホースを噛まれないように保護します。
 - ・皿を置く台座は、腐りにくい竹で自作するのがお勧めです。
- トレイルカメラの設置
 - ・トレイルカメラは焦点距離が短く、野鳥を大きく写せる機種を選びます。
- 水の交換
 - ・水の交換はタライの水をこまめにチェックし、定期的に行ってください。
 - ・皿を載せていないタライの水の色、におい、沈殿物の有無などを確認します。
 - ・日頃から雨水を貯留しておき、利用することをお勧めします。

お気軽にお問い合わせください。

☎ 相談無料

📄 見積無料

株式会社
地域環境計画 生きものと共生する
地域づくり **ちいかん**

株式会社 地域環境計画
〒154-0015
東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
営業本部 プロダクト営業部
担当：印部(いんべ)

✉ inbe@chiikan.co.jp
🏠 <https://www.chiikan.co.jp/>

🔍 ちいかん

